シラバス参照

タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT4614		
科目名	危機管理特殊研究４		
担当教員	吉富　望		
対象学年	4年	開講学期	後期
曜日・時限	金３		
講義室	1209	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 ＤＰ１－Ｅ［学識・専門技能］専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 ＤＰ４－Ｆ［探求力・問題解決力］問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ＤＰ４－Ｉ［理解力・分析力］文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ＤＰ５－Ｊ［創造的挑戦力・達成力］コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に結合し、リスクをとりながら、結果に結びつけることができる。 ＤＰ６－Ｋ［表現力・対話力］文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ＤＰ７－Ｌ［協働力・牽引力］集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連携を強めることができる。 ＤＰ８－Ｍ［省察力］知識と経験とを関連づけ、学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 Ｅ１　学識と専門知識（25%） Ｆ１　探求と論拠（20%） Ｆ２　課題解決（10%） Ｉ１　理解・分析と読解（10%） Ｊ２　創造的思考（10%） Ｋ１　ライティング・コミュニケーション (10%) Ｌ１　チームワーク (5%) Ｍ１　総合的・応用的学修 (10%)		
教員の実務経験	■経験した実務の内容 陸上自衛隊に32年間勤務し、この間、第一線部隊において部隊運用に関わる実務に約11年間従事しました。また、内閣官房内閣情報調査室、防衛省防衛局、防衛省情報本部、陸上幕僚監部といった中央機関で防衛力整備、部隊運用、戦略情報に関わる実務に約11年間従事しました。加えて、防衛大学校、陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊小平学校などで教育及び研究開発の実務に約10年間従事しました。 ■実務経験をどのように活かした授業にするか 本演習では、卒業研究に必要な思考プロセスの実線を通じて社会人に必要な資質を育成します。そのプロセスは①問題意識、②先行研究の確認、③研究テーマ選定、④研究の焦点の明確		

	化、⑤研究仮説の列挙、⑥結論の案出、です。担当教員は32年間の陸上自衛隊における勤務間、この思考プロセスを常に実践し、最終的に結論を踏まえて施策を実行してきました。この実務経験に基づいて思考プロセスを丁寧に説明し、卒業研究を指導します。【第1～15回】
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成につながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が、自らの実務経験に基づいたテーマの科目を設定し、学生が自らのキャリア形成に役立つ科目を選択します。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、各自の研究テーマで研究計画に基づいたレポートを執筆し、完成させるための論文指導を行います。授業形式は演習により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 安全保障、防衛、国際平和協力、自衛隊
授業の趣旨	■副題 安全保障、防衛、国際平和協力などをテーマに卒業研究を執筆しましょう。 ■授業の目的 本演習では、卒業研究を完成させることを目的とします。 ■授業のポイント ・中間発表を踏まえて文献研究やフィールドワークを深化させ、卒業研究を完成させます。 ・他人が読んで分かりやすい論理的な文章執筆にも留意します。 ・卒業研究発表では、研究内容を正確に分かりやすく伝えられるパワーポイント及び発表原稿を作成します。
総合到達目標	■一般総合目標（GIO） 安全保障・防衛に関する学識・専門技能を身につけるため、卒業研究のテーマを広く・深く研究する。また、探求力・問題解決力を高めるため、多角的な観点から研究を行い、学術的な問いを発見し、問いに対する答えを見出す。 ■個別行動目標（SBOs） SBO1 論理的で卒業研究に相応しい内容の論文又は研究レポートを執筆できる。 SBO2 卒業研究の内容を正確に分かりやすく聴衆に伝えられるプレゼンテーションを実施できる。
成績評価方法	■研究進捗状況等の報告１４回（２０%）：適用ルーブリック Ｅ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｉ１・Ｊ２・Ｋ１ （評価の観点）研究を適切な方法で実施し、その進捗状況について①参照した資料、②研究で得られた学び、③研究で浮上した疑問点、④今後の研究予定、をメモを用いながら口頭で分かりやすく発表するとともに、担当教員や学生と議論ができるかを問います。 （フィードバックの方法）その場で教員がコメントします。 ■卒業研究発表（３０%）：適用ルーブリック Ｅ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｉ１・Ｊ２・Ｋ１ （評価の観点）論理的に分かりやすく説明できているかを問います。 （フィードバック方法）その場で教員がコメントします。 ■卒業研究（３０%）：適用ルーブリック Ｅ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｉ１・Ｊ２・Ｋ１ （評価の観点）論理的に分かりやすく執筆できているかを問います。 （フィードバック方法）提出後、教員がコメントします。 ■授業参加度（発言等）１５回（２０%）：適用ルーブリック Ｆ１・Ｆ２・Ｌ１・Ｍ１ （評価の観点）質問やコメントを積極的に発しているかを問います。 （フィードバックの方法）その場で教員がコメントします。
履修条件	危機管理特殊研究１、２及び３の受講者
履修上の注意点	いよいよ卒業研究を完成させます。文章でも発表でも、四年間の学修の総仕上げに相応しい高いレベルを目指しましょう。
授業内容	回：1 内容： ① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－１ ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備

	④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
2	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－2 ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
3	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－3 ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
4	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－4 ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
5	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－5 ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
6	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－6 ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
7	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－7 ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
8	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－8 ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分）

	研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
9	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－９ ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
10	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－１０（卒業研究第１回提出・説明） ② 授業概要 ・ 学生による第１回提出及び説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 第１回提出及び説明の準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を再検討
11	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－１１ ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
12	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－１２ ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
13	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－１３ ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
14	① 授業テーマ：研究進捗状況の報告－１４ ② 授業概要 ・ 学生による研究進捗状況の説明（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック ③ 予習（200分） 研究計画書に基づいて研究を実施するとともに、研究進捗状況の発表準備 ④ 復習（40分） 授業の内容を踏まえて研究を実施
15	① 授業テーマ：卒業研究発表 ② 授業概要 ・ 学生による卒業研究発表（Ｅ１，Ｆ１，Ｆ２，Ｉ１，Ｊ２，Ｋ１） ・ 学生間の質疑応答 ・ 担当教員の実務経験を踏まえたコメントを含めてフィードバック

	③　予習（200分） 卒業研究発表の準備 ④　復習（40分） 授業の内容を踏まえて卒業研究の内容等を修正して最終的に完成
関連科目	「危機管理特殊研究１RMGT4611」、「危機管理特殊研究２RMGT4612」、「危機管理特殊研究３RMGT4613」は本演習と密接に関係します。
教科書	特にありません。
参考書・参考ＵＲＬ	■澤田昭夫「論文の書き方」講談社、1977年6月10日。 ■川崎剛「優秀論文作成術」勁草書房、2010年4月15日。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先　危機管理特殊研究３と同じです。 ■オフィスアワー　月曜日５限。なお、研究室に不在の場合もあるので、事前にメール等でアポイントメントを取ることをお勧めします。
研究比率	■危機管理領域との対応 グローバルセキュリティ１００％ ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学１００％

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.